



2023年5月10日

各位

会社名 神田通信機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 神部 雅人  
(コード番号：1992 東証スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員管理本部長 磯田 滋文  
電話番号 (03) 3252-7731

### 通期連結業績予想と実績との差異及び 剰余金の配当に関するお知らせ

2023年2月13日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2023年3月期の期末配当について、2023年6月29日開催の第86期定時株主総会に下記のとおり付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想と実績との差異について

##### (1) 2023年3月期通期連結業績予想と実績との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,200	300	350	230	97円05銭
実績 (B)	5,978	483	559	383	161円49銭
増減額 (B-A)	△222	183	209	153	
増減率 (%)	△3.6	61.2	59.7	66.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	5,945	370	443	563	234円12銭

##### (2) 業績予想との差異理由

売上高につきましては、期初の受注残高が前年より少ない状況であったため、NW・クラウドPBX・マルチゲートウェイ等の新規事業および、保守料・利用料の増加で補っていく形で推進しましたが、アライアンス案件が中心のため、新規事業の立ち上がりに時間が掛かっていることに加え、売上予定案件の延期等の影響により、前回予想を下回りました。

利益面につきましては、保守料が概ね順調に推移したことに加え、収益性向上策の推進により利益率の向上につながりました。この結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回予想を上回りました。

## 2. 剰余金の配当について

### (1) 2023年3月期期末配当の内容

	予定額	直近の配当予想 (2023年2月13日発表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2023年3月31日	2023年3月31日	2022年3月31日
1株当たり配当金	60円	30円	60円
配当金の総額	142,862千円	—	142,188千円
効力発生日	2023年6月30日	—	2022年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、収益性の向上をはじめとした諸施策に取り組むことでROE 8%の目標を掲げ、同時に中長期的な視点に立った事業活動を推進しております。これまで当社では、当期利益の一定割合を配当とする配当性向の指標を定めておりましたが、株主の皆様への利益還元の姿勢を一層強化するとともに、将来を見据えた投資による減益などによって減配になる可能性があることから、配当の基準をDOE（株主資本配当率）に変更致します。当期以降につきましては、当面の間はDOE 3%を目処として設定し、安定的な配当を継続して参ります。

当事業年度の剰余金の配当については、前回公表において30円としておりました期末配当を1株当たり60円予定としております。

以上